

MEDICAL DIGEST

臨時増刊

イブシロン 特集号

DAIICHI SEIYAKU CO., LTD.

FEB. 1964

NO. 72-A

目 次

Medical Digest No. 72-A 文献要旨……………(A)
 プラスミン研究 最近の話題と問題点……………(1)

— 基 礎 篇 —

フィブリン平板法による血液中の
 プラスミン測定法……………三上 芳雄(4)
 (岡山大 法医学教授)

— 出 血 篇 —

術後出血傾向を示した数例に対するイブシロン…小田島 榮作(6)
 (宮城・築館病院院長)
 咯血、血痰に対するイブシロンの効果……………橋本 仙一郎(9)
 (関西医大 牧野病院)
 胸部疾患に対するイブシロン錠の効果……………矢野 三郎(12)
 (穀大 山村内科)
 副腎皮質ホルモン無効の紫斑病に対する
 1 治験例……………伊藤 典夫(14)
 (国立世田谷病院)
 蜘蛛膜下出血に使用した1例……………佐藤 啓十(16)
 (新潟三条総合病院)
 前立腺手術に対するイブシロン……………藤井 浩(19)
 (社保広島市民病院院長)
 ② 機能性子宮出血に対するイブシロンS注
 単独使用……………早川 澄夫(22)
 (東北大 産婦人科)

— 炎 症 篇 —

皮膚科領域におけるイブシロン……………佐々田 健四郎(24)
 (名大 皮膚科講師)
 イブシロンS注による皮膚疾患の治験……………芝木 秀臣(28)
 (浜館協会病院院長)
 肺切除術後発生したシェーアの1治験例……………成 定 義 人(32)
 (国公共福吉島病院院長)
 腎炎に対するイブシロンの臨床効果……………中 田 不 二 男(34)
 (東京船員保険病院)
 ネフローゼ症候群に対するステロイド
 離脱期のイブシロン使用……………飯 田 忠 忽(41)
 (名古屋通信内科部長)
 耳鼻科領域におけるイブシロンの臨床……………鈴 木 学(42)
 (東北大 耳鼻科)
 イブシロンの著効した壊疽性鼻炎
 と思われる1例……………中 村 正 彌(43)
 (東京通信耳鼻咽喉科)
 国内 Plasmin 文献一覧 (63 年発表分)……………(44)
 プラスミン海外情報 (7)……………(46)

MEDICAL DIGEST

文献要旨

No. 72-A

Feb. 1964

基礎篇

[p. 4] フィブリン平板法によるわれわれの血液中のプラスミン測定法……………三上芳雄
 平板の作り方、測定法について解説している。また、人血清中活性 PL の発現する場合は、非活性 PL 価が減少する。

出血篇

[p. 6] 術後出血傾向を示した数例について……………小田島栄作
 手術前何等の臨床症状もなく、手術後出血傾向の発現を認める例は外科でしばしば経験するところである。これは線維素溶解現象が大きな役割を果たすものと思われる。本現象出現をみた5例にイブシロンの投与を試み著効を得た。

[p. 9] 肺結核症の喀血・血痰に対する抗プラスミン剤イブシロンの効果……………橋本仙一郎
 肺結核患者31例の喀血血痰に対してイブシロンを0.5g錠1日9錠1~44日、注は1日1本を2~67日投与したところ、96.7%の有効率を得、その中、血痰に対して有効例が多く、他剤（止血剤）よりすぐれていることがわかった。

[p. 12] 胸部疾患に対する抗プラスミン剤「イブシロン錠」の臨床効果について……………矢野三郎
 頑固な血痰を伴う肺結核および慢性気管支炎にイブシロンを投与したところ、肺結核では喀痰減少、全身状態好転、慢性気管支炎では自覚症状改善、乾性ラ音消失をみたが、殊に慢性気管支炎では抗生物質と蛋白分解酵素を併用するのが通常であるが、本例ではかえってイブシロン併用の方が症状改善を見た例である。

[p. 14] 副腎皮質ホルモンの効かなかった紫斑病のイブシロンによる1治験例……………伊藤典夫
 栓球減少のない紫斑病でビタミンC、P、Kおよび副腎皮質ホルモンの奏効しなかった例に、5%イブシロン注20mlとビタミンC、K、総合ビタミン剤併用により5日にして皮下出血は軽減、27日以降全く鼻出血、皮下出血を生じなくなった1例報告。

[p. 16] イブシロンを併用せる蜘蛛膜下出血の1例……………佐藤啓十
 頭部外傷に起因すると考えられる蜘蛛膜下出血により入院し、その後4日間意識混濁していた10才10ヵ月の女兒に抗生剤、鎮静剤、補液に加えてイブシロン5%20ml1日2回投与したところ、発病後5日目に意識回復し、諸症状が比較的速やかに回復したのはイブシロン投与によるものと考えられる。

[p. 19] 前立腺手術に対するイブシロンの応用……………藤井浩
 前立腺肥大症9例、前立腺結石3例の摘除術に5%および20%イブシロンを使用したところ、他剤使用（5例）に比し、明らかに出血量、術後尿管持続日数、留置カテーテル使用日数においてすぐれた成績を示した。術中、術後使用するより、術前、術後使用が効果あり、さらに術前数日前から術中、後にかけて連続使用すればよりよい成績が期待できる。

[p. 22] 機能性子宮出血に対するイブシロンS注単独使用経験早川 澄夫
機能性子宮出血21例にイブシロンS注単独投与(1日1~2A, 1~8日総量6~32g)して有効率76.2%の成績を得た。

炎 症 箇

[p. 24] 皮膚科領域におけるイブシロンの治療佐々田 健四郎
皮膚科疾患にイブシロンの5%, 20%注1日1回注または錠1日12~15T分服投与し, 5%注では42例中著効4, 有効21, やや効10, 有効率83.3%, 20%注では6例中有効3, やや効1, 錠では27例中全例有効という成績を収めた。

[p. 28] イブシロンS注による皮膚疾患の治療芝本 秀臣
接触性皮膚炎, 慢性湿疹等のアレルギー皮膚疾患44例にイブシロンS注(10ml/3~8日)を使用し, 著効13, 有効12, やや有効8, 無効11, 有効率75%であった。中でも接触性皮膚炎9例では著効4, 有効4, やや有効1, 急性蕁麻疹4例では著効3, 有効1で, 何れも3~6日で治癒している。
副作用は全44例中3例に悪心, 1例に注射直後に全身潮紅と痒痒感があったのみであった。イブシロンS注は比較的炎症々状が強く, 湿潤傾向の著明な皮膚炎にかなり有効である。

[p. 32] イブシロンにより著効をみとめた肺切除術後発生した
シュープの1治療例成 定 義 人
左下葉区域切除術後反対側に発生したシュープに対し, イブシロンを(注10ml/10日間)使用したところ約3週間後に著明な改善を認めた。

[p. 34] 腎炎に対するイブシロンの臨床効果について中 田 不 二 男
急性腎炎10, 慢性腎炎8, 慢性腎盂腎炎2, 尿管結石による血尿1, 膀胱癌による血尿1, 計22例にイブシロン(錠は1日3~9錠分3, 注は20ml/1日1回静注)を使用した。イブシロンは腎炎の経過そのものに好影響を与えるものと考えられ, この方面の疾患の治療の一つとして有力である。

[p. 41] ネフローゼ症候群に対するステロイド離脱期のイブシロン使用経験飯 田 忠 紹
パラメサゾン投与休止後トリアムシロン連続投与のため顔面紅潮, moon face等が顕著となったネフローゼ患者にイブシロン1日12~15T, ベトネラン2錠間歇投与と離脱療法を試み, 30病日よりイブシロンS注5~10ml×2/日と代えて完全離脱を行なった例。

[p. 42] 耳鼻科領域におけるイブシロンの臨床鈴木 学

腺 窩 性 扁 桃 腺 炎	5 例 中	著効 5 例,	イブシロン単独	全例 2~3 日で効果発現
潰 瘍 性 口 内 炎	3 例 中	やや有効 3 例,	ステロイド併用	7~10 日で軽快
アレルギ-性鼻炎, 鼻茸	2 例 中	有効 1, やや有効 1,	抗ヒスタミン併用	
鼻 出 血	2 例 中	有効 2,	イブシロン単独,	12~14 日で治癒
慢 性 副 鼻 腔 炎	4 例 中	有効 4,	抗生剤併用	3~5 日で効果発現
扁 桃 腺 摘 出	2 例 中	やや有効 2		
喉 頭 癌	3 例 中	有効 2, 無効 1		

[p. 43] イブシロンの奏効したいわゆる壞疽性鼻炎と思われる1例中 村 正 彌
41才の女性の2年来の鼻内病皮形成と疼痛に5%イブシロン20mlを投与したところ翌日から自覚症状軽減し, 14日の注射で痂皮を認めなくなり退院した。以後イブシロン錠1日12TにパンカルG, V B₁錠を併用している。